

家畜衛生だより

春節時期(2月10日～17日)に向けた防疫対策の徹底を！

中華圏の旧暦の正月に当たる春節時期は、中国等からの**海外渡航者・物流量が増加**するため、日本で発生していない口蹄疫等の家畜伝染病の侵入リスクが高まります。

日本の**近隣諸国では、口蹄疫等の発生が継続・拡大**しているため、下記の防疫対策を徹底し、海外からの病原体の侵入防止、農場における発生防止に努めましょう。

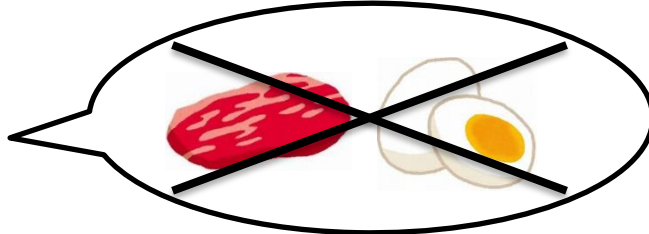
【春節時期に向けた防疫対策のポイント】

① 海外渡航の自粛

口蹄疫等の発生地域・非清浄地域への**不要不急の渡航は自粛**してください。

② 日本へ持ち込み禁止の肉製品等を持ち込まない

日本への**持ち込みが禁止されている畜産物(卵・肉製品等)**が渡航時の携行品・国際郵便物等により持ち込まれることがないように外国人従業員を指導してください。



③ 早期発見・早期通報

家畜の**毎日の健康観察**を行い、**特定症状の早期発見に努めてください。**

また、特定症状を認めたときは、川越家畜保健衛生所へ速やかに御連絡ください。

【口蹄疫の特定症状】

① 「39℃以上の発熱」または

「泡状のよだれ、跛行、起立不能、乳量の大幅な低下又は泌乳停止」があり、

「口の中・唇・鼻・蹄部又は乳房などに水疱・びらん・潰瘍がある」

② 同じ畜房(畜舎)内の複数の家畜の口の中(上記の部位)等に水疱等がある。

③ 同じ畜房内の半分以上の哺乳畜が2日以内に死亡している。

※発生地域については裏面参照

アジアにおける口蹄疫の発生報告状況（2019年以降）

